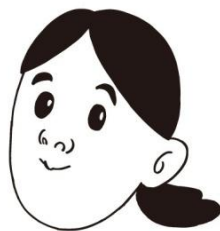


みずま雪絵の 区議会レポート

NO.26 2020/4



〒125-0063 葛飾区白鳥 3-26-13 中村荘 101

TEL 03-6662-7623

FAX 03-6662-7617

e-mail info@mizuma-yukie.org

HP http://mizuma-yukie.org

第1回定例会報告

2月17日～3月27日に行なわれた第1回葛飾区議会定例会の報告を致します。

一般質問では、4点(公契約条例、駅前再開発事業、香害、羽田空港の新飛行ルート)について質問しました。議案は2020年度予算はじめ、全28件(議員提出議案6件含め)の議案審査がされました。



意見の分かれた主な議案	自民	公明	区民	共産	颯新	無所属	無所属	無所属	無所属	みずま	無所属
令和2年度葛飾区一般会計予算	○	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○
令和元年度(平成31年度)葛飾区一般会計補正予算(第4号)	○	○	○	×	×	○	○	○	○	×	○
葛飾区体育施設条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○
葛飾区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例(議員提出議案)	×	×	×	○	×	×	×	×	○	○	×

一般質問(要旨)

1 「公契約条例制定について」

【公契約条例】地方公共団体の公共工事などを受託した業者に対し、そこで働く人に地方自治体が指定した賃金以上の支払いを義務付ける

みずま 労働を買いたたかれることなく、安心して生活することは、誰もが望むもの。区自身が貧困を生みださない、低賃金労働を生みださないために公契約条例を制定すべきと考えるがどうか。(他2問)

区他区の事例を調査、研究する中で、検討を進めてきている。賃金等に係る民間労使への関与の問題、区内中小零細企業に与える負担も大きい。慎重な検討をしていきたい。

II 「駅前再開発事業について」

みずま 亀有駅南口再開発におけるリリオ亀有のリノベーション事業は、区が後押しをする駅前再開発が、区の財政に予想のつかない負担増をもたらした事例ではないか。駅前再開発ビル内の保留床を区が取得し、再開発事業が成り立つ、同様の駅前再開発事業の支援のあり方は、見直すべきと考えるがどうか。(他 1 問、再質問)

区リリオ亀有のリノベーション事業について、リリオ館に新たな魅力を付加することは、公共の利益として、亀有のまちづくりを進める上で一定の効果があると考え、区は参画した。再開発が影響を与えたものではない。再開発事業に対する補助金の交付や保留床の取得が、区の後年度財政への負担増に繋がるものとは考えていない。

★ひとこと)リリオ亀有のリノベーション事業の事業費負担金は、区の事業を委託しているのでもなく、民営化したのでもありません。始めから、民間事業として始まっているものに、負担金という形でフロア賃料等を区が税金で、いわば肩代わりをしているものです。区が後押ししてきた駅前再開発事業のビル内で行なわれるものでなければ、このような税金投入はないと考えています。

駅前再開発事業が区の後年度の財政に影響を与えているといえるのではないのでしょうか。

III 「香害について」

みずま 「香害」について、区から発信し、公共施設等でのポスター掲示、広報やチラシでの周知・啓発することを求めたい。(他 2 問)

区 今後、香りの害に関するチラシの配布やポスターを掲示するなどの方法により、区職員はじめ区有施設の利用者に対しての普及啓発に努めていく。

「香害」…香水、柔軟剤、芳香剤等に含まれる香料の
化学物質による健康被害



IV 「羽田空港増便に伴うルート変更について」

みずま 騒音や落下物の危険がある。区から国へ対し、首都圏上空ではなく海上への離発着ルートの徹底を求めるべきと考えるがどうか。(他 2 問)

区一般的に 900m以上の高度を飛行する航空機の騒音は環境基準を超えることはない。今後も落下物対策など徹底した安全管理を国に要望する。

議 案

【議案第 1 号 2020 年度一般会計予算(総務、議会、福祉など一般的な行政に関わる費用)】 みずま…反対

2020 年度予算審査特別委員会では、スポーツライミング施設の経費、リリオ亀有リノベーションプロジェクト事業費負担金、区内循環バス路線検討業務等委託費などについて質疑を行ない、これまで見直すべきと求めてきた事業、問題のある予算と考えるものが含まれており、一般会計予算案には反対としましたが、賛成多数で可決しました。(当初予算の内容については、区のホームページ、広報かつしか、かつしか区議会だより等でご覧ください。)

【議案第 17 号 葛飾区体育施設条例の一部を改正する条例】 みずま…反対

東金町運動場に新設したスポーツライミング施設を、区の体育施設条例に追加するための議案です。昨年の第 3 回定例会で 4 億円の工事契約案件の議案でも反対をしましたが、現在、区が優先すべき課題なのか、今、税金を投入し行なう必要があるのか疑問です。2020 年度当初予算には 6 千万円の管理運営費が計上されています。

社会保険料や消費税は上がる中、非正規・不安定・低賃金で働く区民の生活・福祉の向上、早急に求められる災害対策、公共交通の充実等、優先しなければならない課題があるのではないのでしょうか。以上の理由により、反対としましたが、賛成多数で可決しました。

【議員提出議案葛飾区子どもの医療費の助成に関する条例の一部を改正する条例】 みずま…賛成

子どもの医療費助成について、現行の「15 歳」までを「18 歳」までに引き上げ、助成対象を拡げる為の改正議案です。他自治体でも、18 歳までの助成対象の引き上げを行なうところがあり、23 区内では北区で 18 歳までの入院時の医療費助成(所得制限なし)を行なっています。

みずまが所属する保健福祉委員会で審査が行われ、子どもの保健向上のために有効なものであると判断し、「自治体は何を優先し、どこに予算を振り向けるかの問題」と賛成を主張しましたが、反対多数で否決となりました。

議員提出で否決されてきたもの全会一致で可決

区の心身障害者福祉手当の支給対象に精神障害者保健福祉手帳 1 級を持つ人を加える議案が全会一致で可決しました。

同様の条例改正議案が議員提出で、これまで何度も提案がされてきましたが、「一般財源からの直接給付よりも就労支援を充実させるべき」等の、身体障害や知的障害とは同じではないという区や反対主張の議員が多くを占め、否決されてきたものです。(みずまは賛成主張)

精神障害者保健福祉手帳を持つ方を手当の対象にする自治体が増えてきていることや、昨年1月から都の心身障害者医療費助成制度に精神障害者保健福祉手帳1級を加えていること等が後押しとなり、区長提案で条例改正が提案され、可決しました。

選択的夫婦別姓制度の審議を求める意見書 賛成多数で可決

夫婦同姓も夫婦別姓も選べる選択的夫婦別姓を可能とする法制度について、積極的な議論を推進するよう国や政府に求める意見書です。

意見書では、◎世論調査で制度の導入に賛成・容認と答えた国民が 66.9%となっている◎夫婦同姓を義務付けているのは世界で日本だけである◎国連女性差別撤廃委員会から、女性が婚姻前の姓を保持できるよう法規定を改正するよう改善勧告をされてきた◎改姓による不利益を避けるために、事実婚を選ばざるを得ない人や、結婚を諦める人がいるということをあげ、意見書が提案され、賛成多数で可決されました。

これまで国会では、議論される場面はありましたが、自民党などの反対の声が強く、実現されませんでした。多様性を認める社会に近づくよう、自治体や国民から声を突き上げる必要があります。

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、経験のない事態になっています。区では、区内中小企業へ新型コロナウイルス対策緊急融資の創設、生活資金にお困りの方へ緊急小口資金の特例貸付・総合支援資金の特例貸付等が実施されています。区や社会福祉協議会へお問い合わせください。

区政/生活/労働 etc お気軽にご相談下さい。

問い合わせは、みずま事務所 TEL・FAX・メールからお願い致します。